

第3回
今治市都市再生協議会
(公共空間再編専門部会)

令和8年2月19日(木) 15:00 ~

1. 前回の部会の振り返り
2. 広小路（今治港線）の検討について
 - 整備案の整理
 - 社会実験の企画検討案の整理
 - 関係者協議の実施
3. 意見交換①
4. 都市再生整備計画（案）について
5. 「中心市街地まちづくり市民会議2025」の振り返り
6. 意見交換②
7. 今後のスケジュール

1. 前回の部会の振り返り

- 2つの会議体の設置（8月19日に実施した第1回都市再生協議会にて承認済）
 - 「**今治市都市再生協議会**」：都市再生整備計画の作成と検証
 - 「**専門部会**」：個別事業及び社会実験の検討

今治市都市再生協議会

- 都市再生整備計画の作成及び変更
- 都市再生整備計画関連事業の実施及び効果検証（R8以降）
- 中心市街地まちづくり（公共空間デザイン）の検討【総合的審議】

《構成》学識経験者、関係団体（経済・商店街等）、まちづくり関係者、関係行政機関、市

都市再生整備計画の
作成と検証

報告 ↑ ↓ 付託

本日の会議体

専門部会（協議会の下部機関）

- 中心市街地の公共空間再編整備の事業化検討
- 上記に関連する社会実験の検討・実施
- 中心市街地の公共空間デザインに関する検討【実質協議】

《構成》公共交通事業者、学識経験者、関係団体（商店街）、まちづくり関係者、関係行政機関、市

個別事業及び社会実験の検討

第2回公共空間再編専門部会の開催概要

日時	令和7年12月19日(金) 15:00~17:00			
場所	今治市みなと交流センター「はーばりー」1階みなとホール			
参加者（委員）	羽鳥 剛史 原 竜也 大成 経凡 友田 康貴 越智 人史 大木 鉄兵 豊島 吾一 坂本 大蔵 矢野 克哉 飛田 隆之 窪 仁志 川田 卓哉	愛媛大学 教授 今治商工会議所 今治明德短期大学 地域連携センター長 今治商店街協同組合 (社福)来島会 合同会社G T O 今治ホホホ座 しまなみジャパン 檜垣産業株式会社 株式会社今治. 夢スポーツ 四国旅客鉄道(株) 瀬戸内運輸(株)	大澤 弘幸 富田 義勝 頼木 清隆 波頭 健 木村 光男 村上 彰 山田 正美 桧垣 充宏 塩見 秀徳 田鍋 文浩 森 聖二	愛媛県東予地方局 今治土木事務所 道路課 今治市 総合政策部 今治市 建設部 今治市 総合政策部企画政策局 今治市 総務部総務政策局 今治市 地域振興部地域政策局 今治市 こども未来部こども未来政策局 今治市 産業部産業政策局 今治市 建設部建設政策局 今治市 建設部都市政策局 今治市 市民が真ん中課
主な議題	(1) 前回 (10/23) の第1回部会の振り返り (2) 広小路 (今治港線) の検討について (3) 社会実験の企画検討案の更新 (4) 中心市街地での検討・取組の共有 (続報) (5) 都市再生整備計画の検討について			

■広小路（今治港線）の交通量調査・検証、再整備案について

項目	意見要旨
交通量調査・検証	<ul style="list-style-type: none"> • 周辺交通の確認も必要ではないか。 →次年度の社会実験を通じて問題を把握し、必要があれば別途交通量調査を行うなど検証を進める。 • 信号不要と提案された交差点は、実際の利用者の実感にも合致しており、納得できた。 • 広小路を歩きやすい道路へ再編していくにあたり、港へ行きやすいと感じられる雰囲気づくりも検討してほしい。
計画案	<ul style="list-style-type: none"> • 南北道路に対して転回路を一致させていないのはなぜか。 →車両の迂回を促すことで速度を抑制し、歩行者が安全に中央広場を通行できるようにしている。転回路の位置・個数については、今後交通に対する影響を踏まえて検討予定。 • 利用者の使い勝手や交通への影響を検証する機会として、社会実験を活用できるとよい。
中央広場の活用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> • スポーツコート、屋根やデッキ、イベントが可能なフリースペースなどは具体的に活用がイメージできる。 • 区間ごとに先進事例の要素を組み合わせれば、にぎわいある空間になると感じた。 • 転回路を覆うように立体的に広場でつなぐ可能性もあるかもしれない。
歩道の活用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> • 歩道側の商店と連携してにぎわいをつくる可能性もある。
クスノキ	<ul style="list-style-type: none"> • 市民にとってもメモリアルなクスノキを残した計画は非常に良い。 • 整備にあたり、クスノキの印象が薄れないようにしてほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 中央広場の整備にあたり法令上の位置づけやランニングコストについて今後県・市で議論を進める。

■広小路（今治港線）での社会実験について

項目	意見要旨
交通規制	<ul style="list-style-type: none"> 交通規制は24時間を想定しているか。 →警察協議や費用面も踏まえて検討予定。 道路管理者にて車両最大寸法の規制を行う考えはあるか。 →道路管理者、交通管理者と協議を踏まえて検討予定。
実験時の交通量調査	<ul style="list-style-type: none"> 社会実験時に交通量調査を実施する予定はあるか。 →効果検証の一つとして可能であれば実施したい。
実施期間/時期	<ul style="list-style-type: none"> 他イベントとの調整、マルシェとの連携も念頭に、早めに実施期間の調整が必要。 マルシェのある日とない日で比較できるような日程を組めると良い。 →【実験期間（仮）】11月9日（月）～22日（日） 詳細は後述

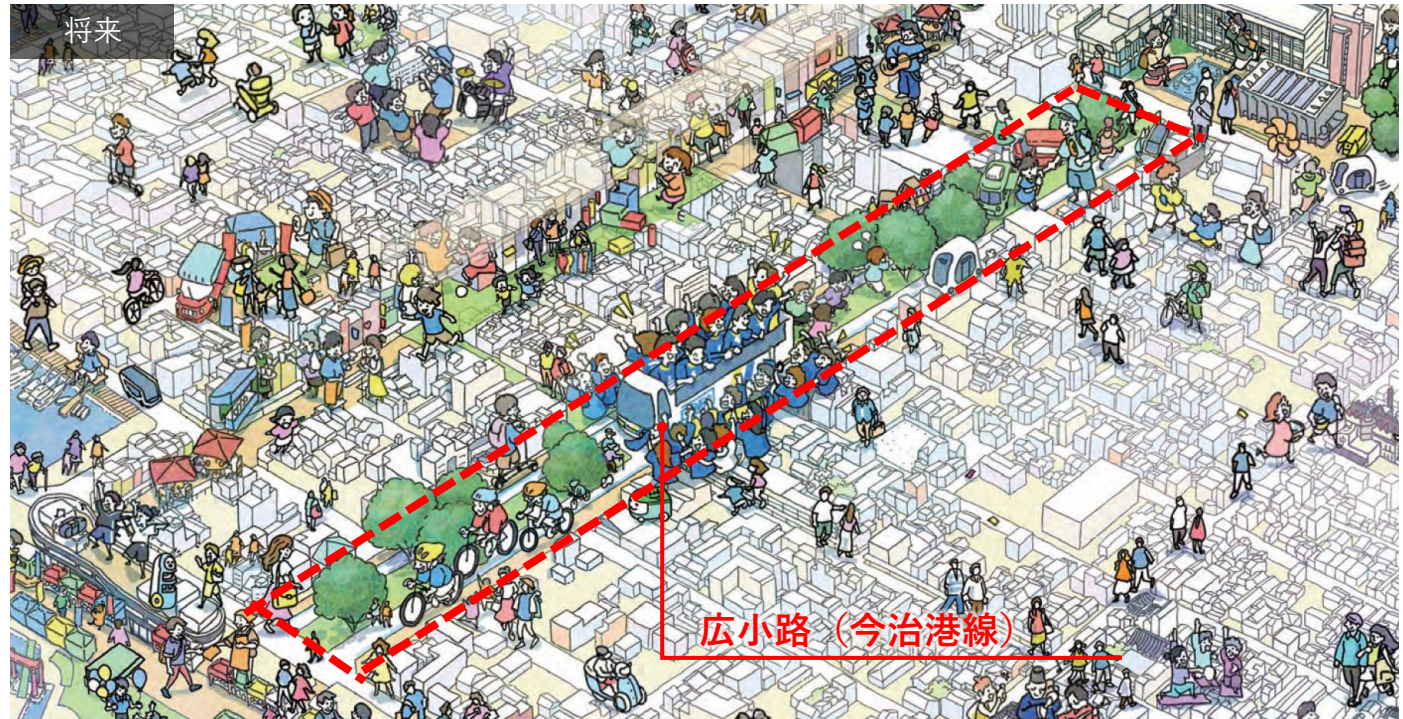
■その他

項目	意見要旨
広小路（停車場線）	<ul style="list-style-type: none"> 駅前の停車場線は、今治港線の後に整備する予定か。 →ランドデザインに示すように、将来的に整備を検討。
駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> i.i.imabari!推進課・サイクルシティ推進課との意見交換にて、駅前広場がもっていないとの課題意識が出ている。 2月14日から3月末までの期間で駅前広場を活用した実証実験を検討している。今後は今治あきない商社と連携しながら、行政と一緒に取組を進めていきたい。
ケヤキ並木	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年5月から今治あきない商社主体でライトアップを実施する方向で検討されている。 今後は今治あきない商社にも部会等の場に関わっていただき、まちづくりの議論や方向性を共有できた方がよい。

2. 広小路（今治港線）の検討について

■ まちづくりにおける広小路（今治港線）の位置づけ

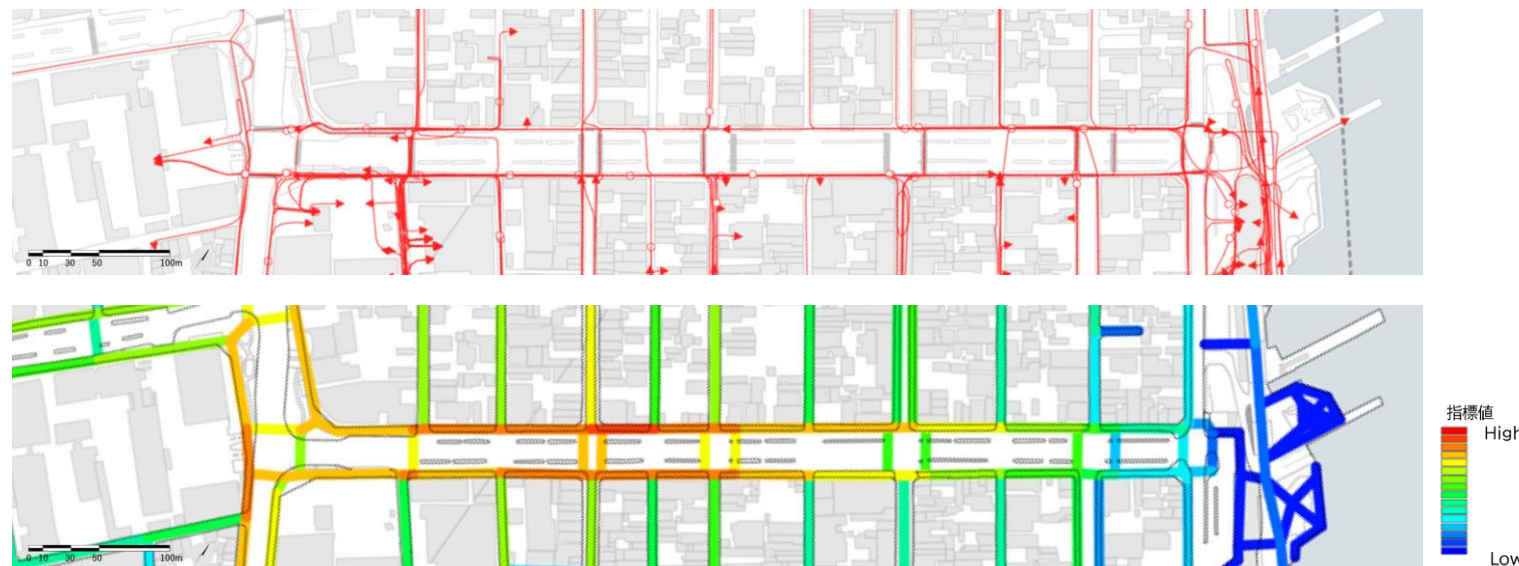
- 今治市では、2022年度より3年にわたり地域、関係者と協議を重ね、中心市街地の目指す将来像を示した「今治市中心市街地グランドデザイン（2025）」を策定。
- このうち車両交通量の減少がみられる広小路（今治港線）では、現市庁舎と港を結ぶシンボル性を活かし、側道の廃止・車道付け替えにより中央部を歩行者のための広場として開放し、既存のクスノキを活かした緑豊かな環境への再編を提案。



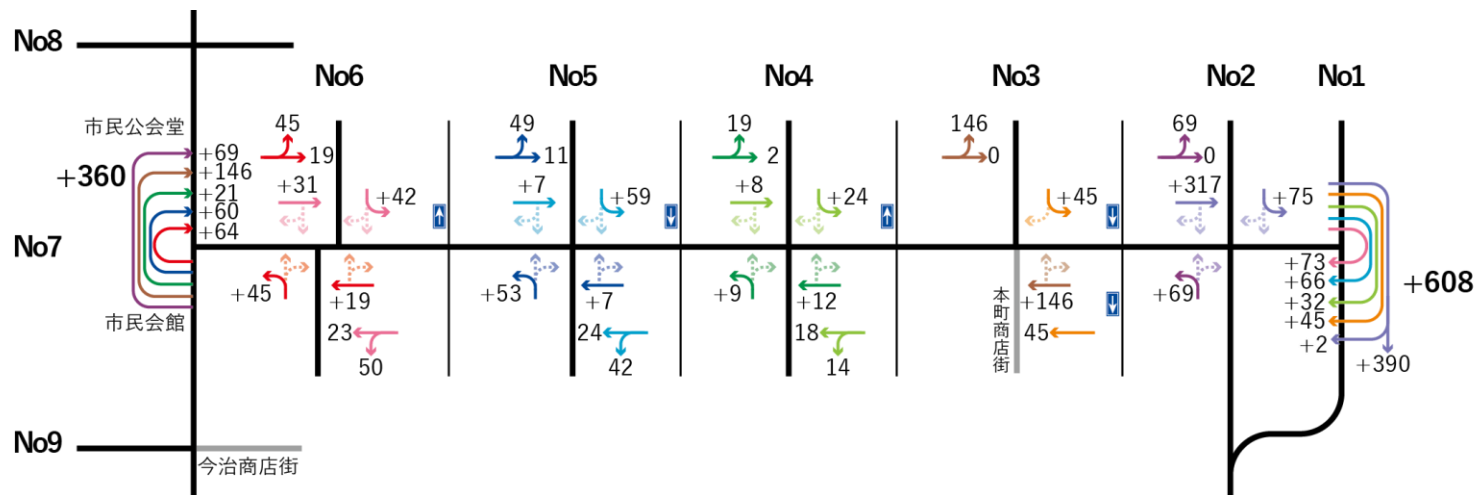
交通に関する調査分析

- 整備にあたり、令和6年には歩行者の交通、令和7年には車両の交通について調査分析を実施し、将来像の実現に向けた空間整備の在り方について検討。
- 歩行者の交通に関する調査分析（ネットワーク空間特性・アクティビティ分析）からは、南北の横道を通り抜ける歩行がみられる一方、交差点で動線が迂回し、つながりが弱いという空間特性の課題が読み取れる。
- 車両の交通に関する調査分析からは、現在の交通量調査の結果を踏まえ、将来の道路空間再編が交通に与える影響を検証し再整備案・社会実験の実施案を検討。

歩行者の交通に関する調査分析（ネットワーク空間特性・アクティビティ分析）



車両の交通に関する調査分析（交通量調査）



次年度の社会実験にて、整備案における交通に対する影響・課題等を具体的に調査

■ 公共空間デザインの検討（案）

・ 次世代に継承するまちのシンボル

丹下の市民広場構想や市民によるクスノキの寄付など歴史的経緯を尊重し、多様な市民活動や沿道・周辺の活性化につながる空間を形成する

・ ウォーカブルシティへの貢献

市庁舎と港をつなぎ、商店街など南北の回遊性を高め、まちなかで多様な活動が生まれるウォーカブルな中心市街地の形成に貢献する

・ 快適・持続可能な都市基盤

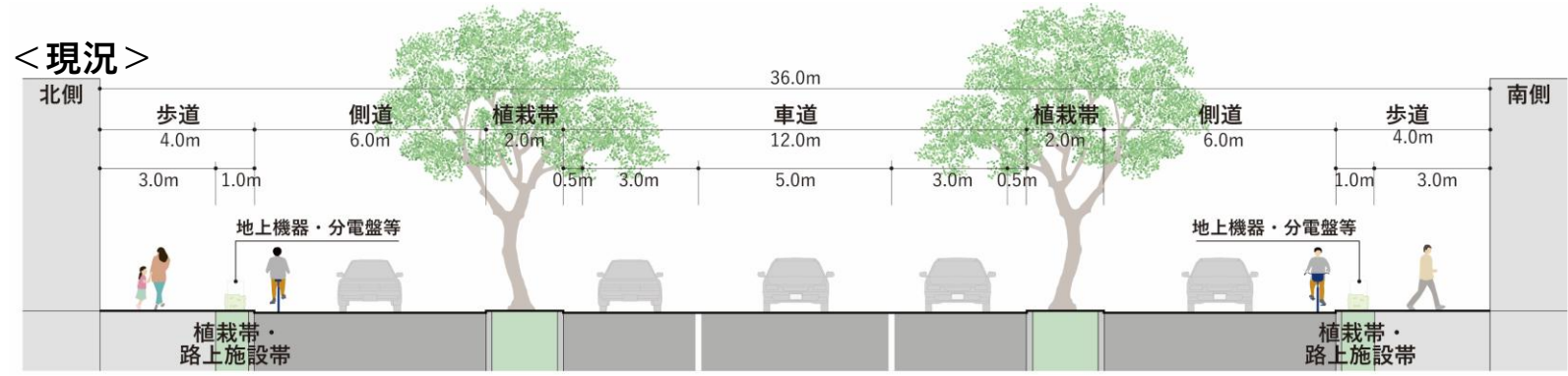
貴重な都市における緑の保全をしながら人々が快適に利用でき、内水氾濫による被害低減など持続可能な都市環境の基盤を形成する

・ 継続的な利用に向けた官民連携の体制

市民活動の場として利用しやすい空間整備や、継続的な利活用につながる体制の構築を図る

・ 多様なモビリティの共存

多様なモビリティが道路を安全・快適に利用でき、広場を訪れ周辺へ回遊を広げる拠点となる交通機能を確保する



< 提案 >



① 中央広場

まちづくりのシンボルとして、多様な市民の活動を受け止める広場。既存のクスノキを活かし、緑豊かな広場
 (1) や都市的な広場
 (2) など整備・活用のイメージを検討。

② 整備イメージ②：多様な活動ができる広場



③ 歩道

沿道と一体で歩行者の回遊性向上やにぎわい創出を図る空間。沿道関係者との協議により利活用に関するニーズを把握し、官民の敷地が連携した活用方法を検討。

■ デザインノートの更新（案）

交通量調査の結果を踏まえた検証により、両端の交差点の負荷をかけないため、転回スペースを設けることを検討

交通量調査の結果を踏まえた検証により、本町商店街に向かう右折の流れを残すことを検討



沿道にあるバス停との関係から交通の結節点としての設えを検討

沿道にあるバス停、VISAGEとの関係から設えを検討

- 歩行者をはじめ多様なモビリティが安全・快適に通行できるよう道路の整備形態を検討し、社会実験を通じた検証を行う
- 沿道関係者等との協議も踏まえながら、官民連携で利用しやすく、沿道の価値を高める歩道・中央広場の整備・活用を検討する
- 公共交通や自転車、将来モビリティで訪れやすく、周辺へと回遊を広げていく拠点の形成に向けて、待合・乗換空間を形成する

■社会実験の背景・目的（前回の振り返り）

- 広小路の再編に向けて、**実際の現場での効果検証**や**市民・関係者等との合意形成**等を図る

■社会実験の目的

- ①**車両の通行規制等による交通への影響を検証する**
- ②**中央緑道化を見据えた広小路の新しい活用方法を体験する**

↳ **社会実験の実施に向けた取組や体制づくりを通じて、市民・関係者等による「まちづくりの機運醸成」を図ることも重要な役割の一つ**

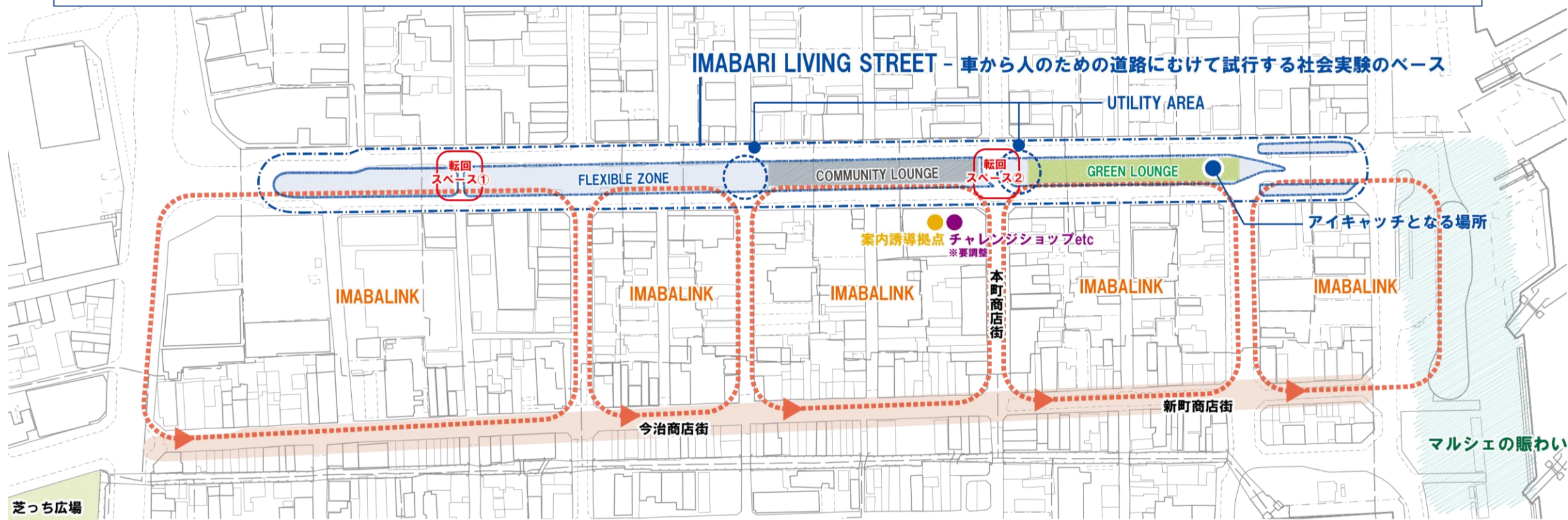
■社会実験実施に向けた検討事項

- | | |
|-----------------------|--|
| ① 社会実験の概要 | 【前回からの変更事項】
→ 社会実験の実施日の設定 |
| ② 交通規制・安全管理 | → 庁内調整等による規制内容の更新・具体化 |
| ③ 社会実験の内容 | → コア会議による検討開始 |
| ④ 実施に向けたロードマップ | → 実施日程を踏まえて更新 |

■社会実験の概要

- 【実験対象】 広小路周辺（商店街や港との連携した取組を検討することで回遊性の向上を図る）
- 【実験期間（仮）】 **11月9日（月）～22日（日）**（うち、1日は「せとうちみなとマルシェ」実施日）
期間中は24時間の実施を想定

実験のテーマ（案）：広小路・商店街・みなとが一体となって実施する社会実験『（仮称）IMABALINK』



※現状部会に提示している内容は想定のみ（警察を含めた関係者協議や意見交換を促すために作成しているもの）

交通規制・安全管理

- 広小路本線（一部副道）の交通規制（植栽帯が無い区間に保安設備（赤線）を設置して車両等の侵入を規制）
- 広小路の副道及び広小路に接続する道路の進行方向の規制（道路上に青の矢印で記載。看板等により十分に周知を行う）
- 連続性を高めるため広小路の横断車両を規制し、その代替となる2か所の「転回スペース」の必要性を社会実験で検証
- 一部交差点の信号制御を変更するとともに、案内・誘導看板等の設置や路面標示の変更を行う。

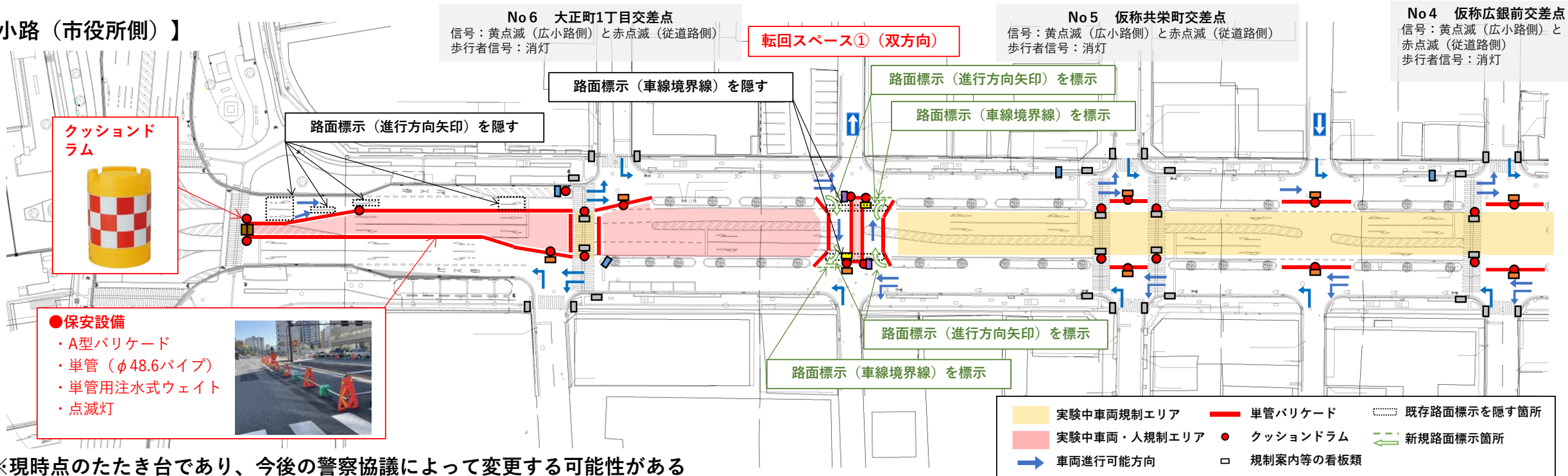
○規制案内等の看板類の内容

※必要に応じて広小路周辺（中心市街地内）にも配置

種類	凡例	内容	設置箇所
A		広小路（今治港線）社会実験実施中	広小路西側・東側※
B		一旦停止して安全確認 左折のみ	車両通行規制部
C		社会実験の実施に伴い歩行者信号を停止中 安全を確認して横断してください	広小路内の横断歩道
D		徐行して安全確認 右折禁止	広小路の副道
E		一旦停止して安全確認 合流注意	転回スペース①
F		Uターン路	転回スペース①
G		対向直進車が優先です 対向直進に注意して右折してください	転回スペース②

交通規制のイメージ（市役所側）

【広小路（市役所側）】



交通規制・安全管理

- 広小路本線（一部副道）の交通規制（植栽帯が無い区間に保安設備（赤線）を設置して車両等の侵入を規制）
- 広小路の副道及び広小路に接続する道路の進行方向の規制（道路上に青の矢印で記載。看板等により十分に周知を行う）
- 連続性を高めるため広小路の横断車両を規制し、その代替となる2か所の「転回スペース」の必要性を社会実験で検証
- 一部交差点の信号制御を変更するとともに、案内・誘導看板等の設置や路面標示の変更を行う。

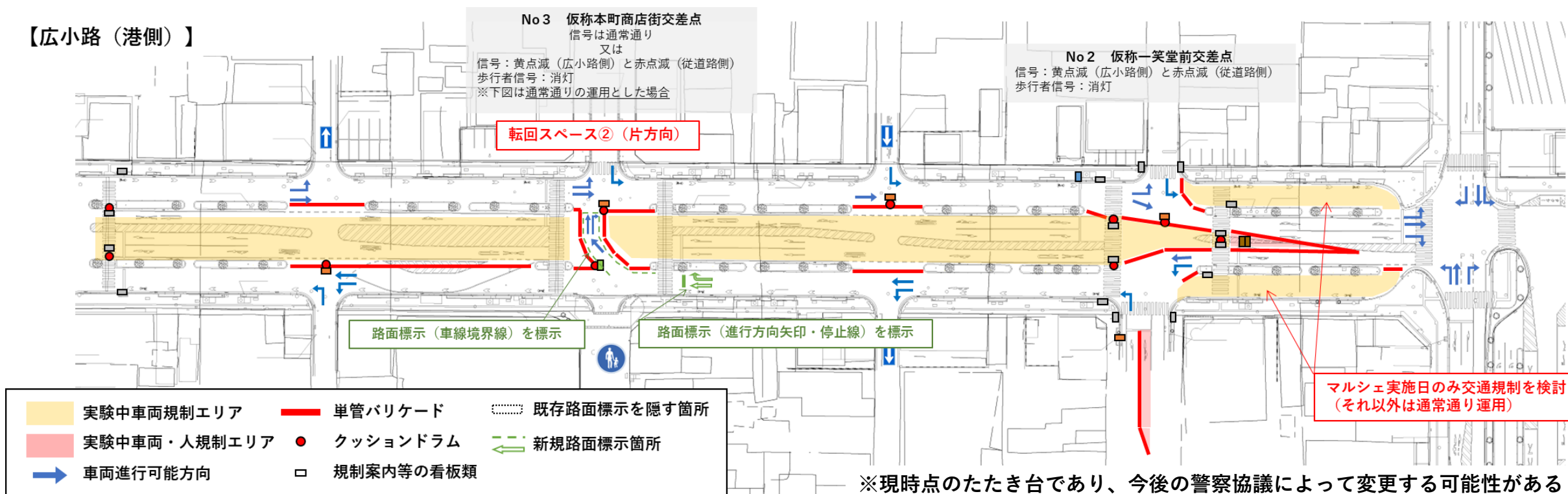
○規制案内等の看板類の内容

※必要に応じて広小路周辺（中心市街地内）にも配置

種類	凡例	内容	設置個所
A		広小路（今治港線）社会実験実施中	広小路西側・東側※
B		一旦停止して安全確認 左折のみ	車両通行規制部
C		社会実験の実施に伴い歩行者信号を停止中 安全を確認して横断してください	広小路内の横断歩道
D		徐行して安全確認 右折禁止	広小路の副道
E		一旦停止して安全確認 合流注意	転回スペース①
F		Uターン路	転回スペース①
G		対向直進車が優先です 対向直進に注意して右折してください	転回スペース②

交通規制のイメージ（港側）

【広小路（港側）】

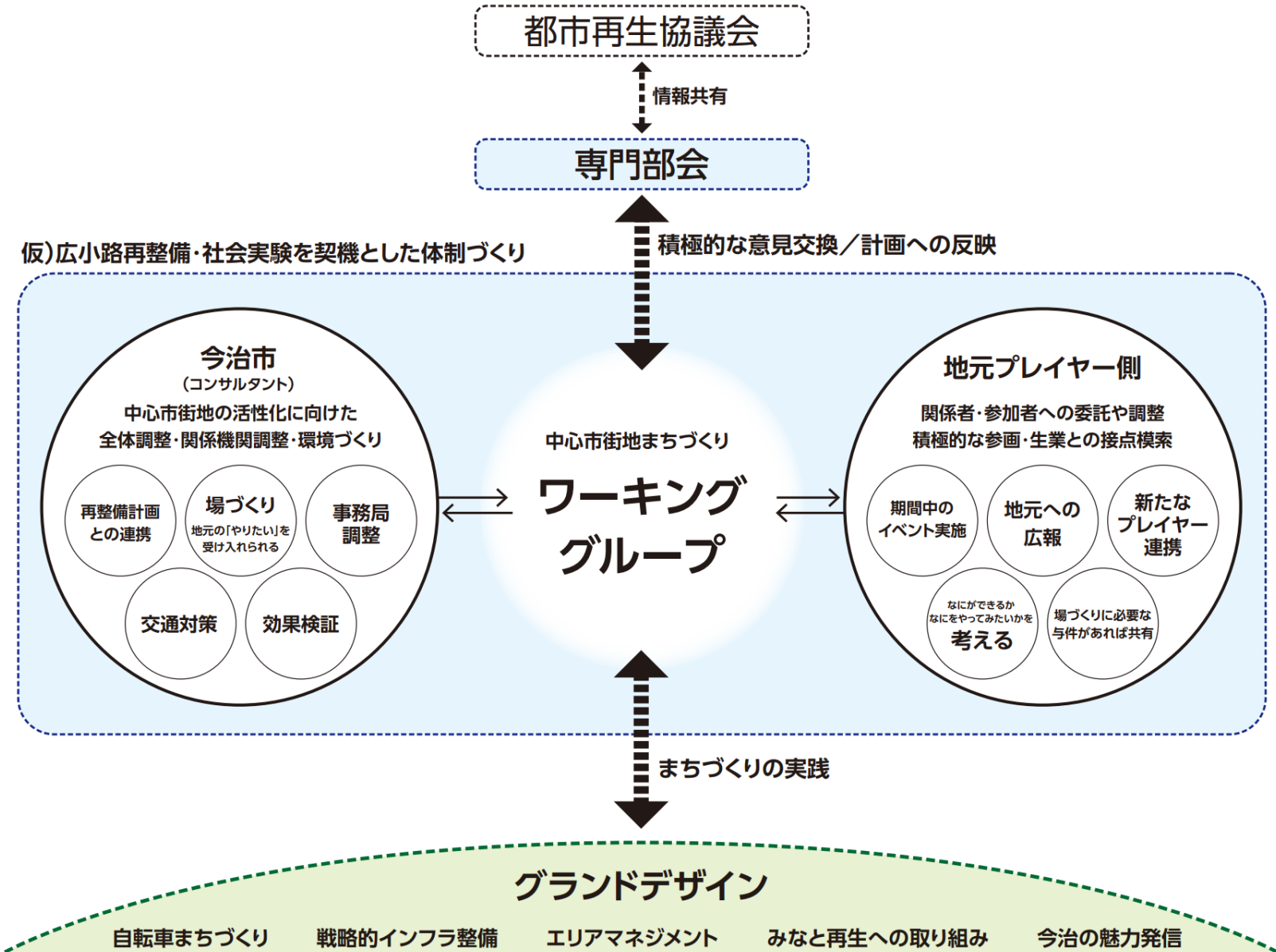


■ ワーキンググループについて

- 現検討体制の下に官民協働による「ワーキンググループ」を設置し、社会実験の実施に向けた検討を行う → 前回部会で承認済
- 将来的には、ランドデザインに基づくまちづくりの実践を担う、恒常的なエリマネ組織としての体制化を目指す
- 今年度はその立ち上げを行うものとし、まずは**“コアメンバー”**（＝これまで話を聞いてきた方の中から参画意向のある方を呼びかける）によって小さく議論する（＝**“コア会議”**）ところから始め、社会実験の検証項目や考え方等の方針を検討する

→ **社会実験の実施内容について**
まずは**コア会議**で検討を進める

■ 社会実験の検討・運営体制のイメージ



■ 社会実験の内容

- コア会議では、社会実験における**広小路の利活用の方向性**及び**検証項目を設定**するとともに、その検証を行うための**具体的な社会実験プログラム案**を、行政と住民・プレイヤー（コアメンバー）で検討する。
- コア会議について、まずは準備会（web参加可）を実施したのちに、2～3月に対面によるキックオフ回を行う。（その後は6月以降ワーキンググループとして運用開始を目指して適宜開催予定）

■ コア会議の実施イメージ

○準備会（2/12（木）web開催）

- 「コア会議」の理解について足並みをそろえる
- 社会実験を「自分ごと」として検討していただく

【想定する実施内容】

- ① コア会議の意図・目的等の説明
 - ② 全体的なスケジュール案
 - ③ キックオフに向けての準備
 - ・ 将来ビジョンの実現に向けて「大切にしたいこと」
 - ・ 広小路や中心市街地で将来やってみたいこと
- 等についてご自身の活動の観点から検討していただく

○キックオフ会（3/11（水）対面開催）

- コアメンバーが一堂に会し、関係性を築く場とすること
- 社会実験の方向性についての意見交換・整理

【想定する実施内容】

- ① 前回の振り返り
- ② 事前検討内容の共有・意見交換
⇒ 大判図面を囲みながら意見交換
- ③ 今後の進め方について意見交換
 - ・ 検討を広げていく際の配慮点・懸念点の整理
 - ・ 次回以降の進め方の確認

○コア会議

- 会議の意見を実行可能な場にする
 - ・ 検証項目
 - ・ 具体的なプログラム案などの検討

※進め方はキックオフ会の様子を見ながら要調整

※3～4月で適宜開催予定

○公募・WG（5月以降）

① ワーキンググループのメンバー・実施内容の公募（5月）

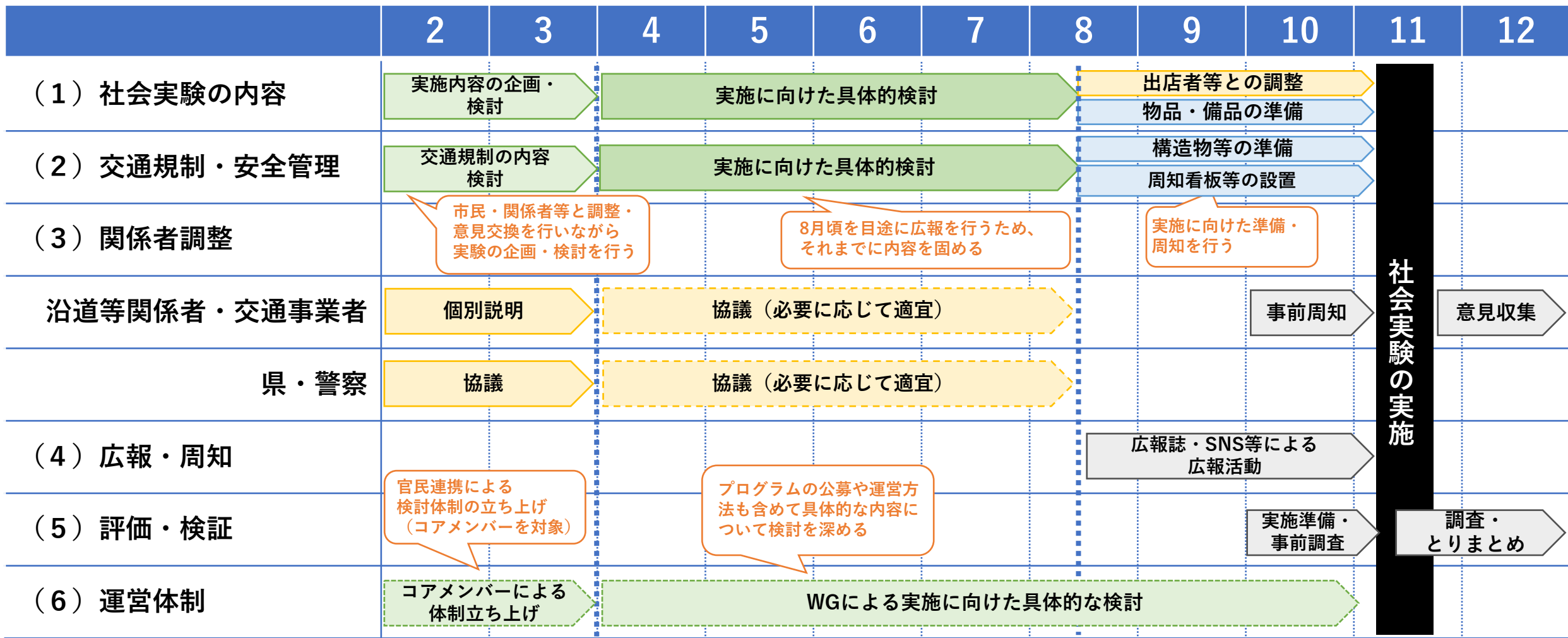
② ワーキンググループの開始（6月～）

※WGではコアメンバーを中心にしたチーム編成で検討を行うイメージ

- ・ チームごとに具体的に内容検討
- ・ 準備・各種調整
- ・ 実施期間中の運営など

■ 社会実験実施に向けたロードマップ

※11月実施を想定した場合に逆算して一旦作成したイメージであり、この工程を進めるといったものではない（今後変更する可能性がある）

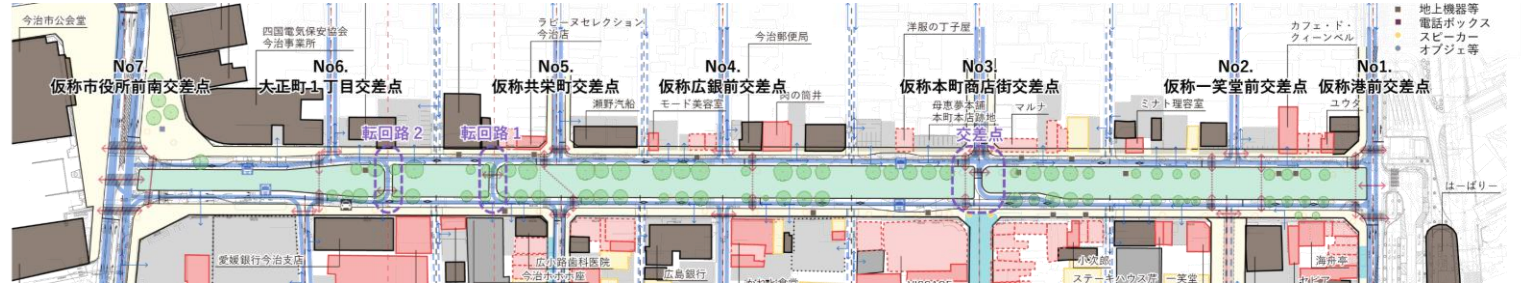


社会実験の実施

※Google Mapストリートビューより用途を判定

■ 個別ヒアリングの実施

- バス事業者、沿道事業者と現在の空間整備・社会実験の検討内容を共有しながら、利用に関わるニーズや今後の検討に向けた課題整理を図る



2月5～6日より協議を開始
(今後も協議を継続する予定)

バス事業者

- ① 瀬戸内運輸、瀬戸内海交通
- ② 瀬戸内しまなみリーディング

沿道事業者

- ③ 瀬野汽船
- ④ 肉の筒井
- ⑤ アポニー
- ⑥ ラピーヌ
- ⑦ 三好工芸社
- ⑧ ブティック・マイ
- ⑨ かねと食堂
- ⑩ メンズショップ丁子屋

バス事業者



沿道事業者



項目	意見要旨
プロジェクトの考え方	<ul style="list-style-type: none"> • 道路再編を通じて中心市街地に人を呼び戻そう、人のための空間をつくろうという考え方自体は理解できる。 • 中央を緑地・広場にするのは個人的には賛成。
幅員構成(主に車道)	<ul style="list-style-type: none"> • バス事業者からすると車線幅員3.0mは本当に狭いので、通れるかどうか不安。バスは車体幅2.5mにバックミラーもつくため、車線幅員3.0mではバスが安全に通行できない。 • 荷捌き車や緊急車両通行時の逃げ場がないので、バスの定時性にも影響を与える恐れがある。 • バス事業者としては、円滑かつ安全な交通を担保してほしい。 • 現在は歩行者、自転車、その次にバスという優先順位になっているように見える。
自転車通行帯	<ul style="list-style-type: none"> • 自転車通行帯として2.0mをとっているが、本当に必要なのか。
クスノキ	<ul style="list-style-type: none"> • 現在の広小路では枝の伸びたクスノキを避けるために、センターラインを踏んで走行する場合もある。
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> • バス事業者としては、円滑かつ安全な交通を担保してほしい。 • バス通行時の安全を確保するため、中央広場から車道に飛び出さないような対策を検討いただきたい。
通過交通	<ul style="list-style-type: none"> • 単に看板を立てるだけでは通過交通は減らない。何らかのルールがないと、交通事情は変わらないと思う。
社会実験	<ul style="list-style-type: none"> • 来年度の社会実験時にも、現在の整備案に合わせて車線幅員3.0mで実施すべきだと思う。 • まずは社会実験で試してみて、それで問題がなければよいと思う。



社会実験にて整備案における交通に対する影響・課題等を具体的に調査するとともに、多様なモビリティが共存する道路の整備形態を継続検討

項目	意見要旨
プロジェクトの考え方	<ul style="list-style-type: none"> • 人のための広場に変えるのは賛成。現在は抜け道になっているが、車が走行しづらくなれば別の道を探すと思う。 • 整備をきっかけに広小路をアピールしてくれるのはよいと思う。 • 道路空間再編をする必要はないと感じる。側道を車が通るようになると、交通が危険。店のお客さんにも話をしてみたが、全員反対だった。市内にも公園が増え始めている中で、わざわざ公園にする必要があるのか疑問。 • 新たに広場として使っていこうという考え方はいいと思うが、周りに楽しめる場所がないと回遊は生まれない。 • 車で通りにくい、店に入りにくいとなった場合、営業に影響が出ないかが心配。不便さを感じさせてまでウォークアブルにする必要があるのか。中央を広場にしても、単純に不便になるだけで、沿道は商売が難しくなる。知り合い20人ほどに話をしてみたが、全員反対していた。
幅員構成（主に車道）	<ul style="list-style-type: none"> • 港に向かう交通量が増えた場合に車がつまってしまうのではないかと心配。 • 中央広場と車道での安全対策、バスやトラックなどの大型車の通行、工事期間中の通行も検討いただきたい。
自転車通行帯	<ul style="list-style-type: none"> • 自転車通行空間を中央広場内に入れて、車道内に2車線分のスペースをとれないか。 →幅員6mの中では難しい。限られた幅員の中で、必要なモビリティが共存できる在り方を今後検討していく。 • 自転車専用通行帯は不要だと思う。自転車の人はあまりお金を使わないとも感じており、そのためにわざわざレーンを設けてもまちの活性化にはつながらないと思う。
荷捌き等	<ul style="list-style-type: none"> • 現在は建物の裏手に車をつけているが、郵便や宅配業など簡単なものであれば沿道につけて荷下ろししている。 • Uターンができる場所に止められれば問題ない。そのくらいの不便さでまちがよくなるならやっただいと思う。 • 現在の側道部分での荷下ろしはできた方が望ましい。宅急便など短い時間であれば止めさせてほしい。 • 1~2分ほどの短い時間であれば運送業者は止められるようにしてほしい。路上駐車場が廃止後、キハラパーキングに停めてもらっているが、足の悪い人だと店まで歩いてこれない場合もあるので困っている。

項目	意見要旨
クスノキ	<ul style="list-style-type: none"> • クスノキを伐採してしまうと、通りの良さがなくなってしまう。ただ、クスノキの根が建物側にも伸びてきていて、下水が詰まったという話も聞いた。残すか伐採するかについては、なんとも言えない。 • クスノキの根が広がり、排水管を詰まらせていた。 • 落ち葉の清掃について、ゴミ袋でいうと1袋弱、風の強い日には2袋分の落ち葉を清掃している。 • 清掃について、沿道の人たちはめんどくさがってはいるが、まあそれも悪くないかなという感じだと思う。 • クスノキを植え替えることはできないのか。 →移植は技術的には可能だが、多額の費用が掛かることや木が耐えられずに枯れてしまう可能性がある。
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> • 側道を本線化した場合に歩行者の安全性が心配。 • 車線合流時に植栽帯の植え込みが見つらく、危ないと感じる時がある。
通過交通	<ul style="list-style-type: none"> • 一方通行にした場合でも通り抜けする人は出てきてしまうと感じる。現状はスピードも速いので心配。速度制限は設けた方がいいと思うし、車両にはきちんとスピードを守ってもらいたい。
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> • 駐車場も設けたほうがよいのではないかと。まちなかを歩いて過ごすように抜本的に変えていこうというのは理解できるが、ステップとして地域の生の声にも応えてほしい。 • 路上駐車が不可となって以降、お店に人が来れなくなったように思う。
マルシェ	<ul style="list-style-type: none"> • 冬は海風で寒さが厳しく難しさを感じている。出店している身としては、冬場は広小路に縦に並べられるとよい。 • 冬場は寒いので、広小路よりも屋根のある商店街を使った方がよいのではと思う。
おんまく	<ul style="list-style-type: none"> • ベンチなどの座れる場所があるとよい。イベント時の仮設ベンチを保管する場合、必要があればうちでやるのは問題ない。

3. 意見交換①

4. 都市再生整備計画（案）について

③計画の目標

【大目標】港の賑わいをまちなかに波及させる、今治らしい中心市街地の魅力創生

目標1：誰もが集い、多世代の交流が生まれるまちなかの交流拠点の形成

目標2：市民や来訪者の交流・活動を促し、まちの魅力向上に寄与する賑わい空間の創出

目標3：回遊性の向上による歩きたくなるまちなかの形成

④計画の考え方

点的整備ではなく、「公共施設整備 × 公共空間整備 × 民間誘導」を組み合わせた面的再生

⑤計画の評価の必要性

【事前評価】計画の妥当性、効率性、実現可能性を確認（国の事前審査了）

【事後評価】目標の達成状況を確認 ※事後評価を重視

○目標を定量化する指標

・歩行者通行量（人／日）	1,666人／日	（R5年度）	⇒	2,000人／日	（R12年度）
・子育ての環境や支援への満足度（％）	25％	（R5年度）	⇒	30％	（R12年度）
・公示地価の平均変動率（％）	△1.4％	（R6年度）	⇒	0％以上	（R12年度）
・中心市街地の満足度（％）	23％	（R6年度）	⇒	30％	（R12年度）

⇒事後評価結果を踏まえ、第2期計画を作成することも可能

5. 「中心市街地まちづくり市民会議2025」の振り返り

日時	令和7年12月20日(土) 13:00~16:30
場所	今治市みなと交流センター「はーばりー」1階みなとホール
参加者	<ul style="list-style-type: none"> WS参加者 40名 (高校生13名、教員1名、大学生6名、大学院生1名、プレイヤー9名、不動産業者3名、事業者2名、会社員3名、医療・福祉関係者1名、無職1名) 観覧者 約50名 計 約90名
目的	<ul style="list-style-type: none"> 「今治市中心市街地グランドデザイン」の計画内容や取組を発信し、まちづくりの機運を醸成 まちなかの地域資源や未来についてのシナリオなどを題材に、参加者自身が相互に意見交換
プログラム	<ol style="list-style-type: none"> 趣旨説明 あいさつ プログラムの説明 各団体によるまちづくりに関する発表 今治市中心市街地グランドデザインの説明 まちづくりワークショップ (グループワーク) 各グループでの成果発表、ディスカッション

中心市街地まちづくり市民会議 2025

「まちなか」未来とじぶん

① 各団体によるまちづくりに関する発表

② 今治市中心市街地グランドデザインの説明

③ まちづくりワークショップ (希望者のみ)

④ 成果発表ディスカッション

12.20

(土)

13:00-16:30

今治市みなと交流センター「はーばりー」
1階 みなとホール



「まちなか」未来とじぶん
グランドデザインで描いた「中心市街地(まちなか)」の未来を、もっと面白く、もっと魅力的にするために。まちづくりに関わる、関わりたいみなさんと一緒に、「まちなか」・未来・そしてじぶんのこれらを語り合います。

※当日のグランドデザインの説明、取組の発表、議論の様子を観覧できます。ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

参加方法

申込期間 | 11月17日(月)8:30 ~ 12月19日(金)17:15まで
 事前申込制 | 定員: 80名 (先着)

※ワークショップについては人数に限りがあり、ご希望に添えない場合があります。

・右記申込フォームからお申し込みください。
 ・申込フォームから申込みできない場合のみ「お問合せ」へお電話でお申し込みください。
 ・事前にお申込みいただいた方を優先いたします。
 ・定員に達した時点で申込みを締め切ります。

会場案内

今治市みなと交流センター「はーばりー」1階 みなとホール
住所: 今治市片原町1丁目1-27



今治港第2駐車場 | 1階みなとホール | 今治港沖州駐車場
今治港第1駐車場



申込フォーム

お問合せ

今治市 総合政策部 企画政策局 魅力都市創生課
TEL: 0898-36-1508



■各団体によるまちづくりに関する発表



■ランドデザインの説明



■まちづくりワークショップ、グループワーク



■各グループでの成果発表、ディスカッション



各団体によるまちづくりに関する発表や「今治市中心市街地ランドデザイン」も踏まえ
まちなか・未来・じぶんのこれらを語り合うグループワーク・ディスカッションを実施

■まちなかの活用に向けたアイデア（1）

項目	意見要旨
<p>歩行者・ 自転車 が 回遊し やすいまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ランニング、ウォーキング、サイクリングのコースなど運動・健康につながる環境整備を進めてほしい • 港と広小路がつながれば、朝・夜の散歩などで集まったり、コミュニケーションの機会が増える • 高校生や学生は徒歩や自転車で行動するので、歩き回れるまちにしたい • サイクリングコースの青線をもっと引いてもいいのではないか • 歩いたり自転車で走っていれば、まちの景色に動きが出て活性化している印象につながる • 車よりも自転車や歩きの方が、まちを感じてもらえる • 歩いてもらうために駐車場をつくらないというマルシェの考え方には共感 • 駐車場やサイクルターミナルから、自転車でまちを巡ってもらえたら素敵 • 道がぼこぼこしていたり狭いので、もっと歩きや自転車で移動しやすいまちにしたい
<p>回遊したく なる魅力ある まち</p>	<ul style="list-style-type: none"> • マルシェで駐車場から港まで歩く間に、商店街で物を買ったり食べ歩きしたり活動が生まれてほしい • 商店街に足を運べる場所が増えてほしい • 目的地となるエリア同士が離れているので、道中に魅力を感じる店をつくり、人の流れをつくっていききたい • 飲み屋やカフェがあるとよい • まちの色々なところで小さい絵を展示し、それを巡るようなイベント「歩く美術館・博物館」をやってみたい

■まちなかの活用に向けたアイデア（2）

項目	意見要旨
酒場・横丁 （語り合える、 チャレンジで できる場所）	<ul style="list-style-type: none"> • 酒場、横丁をつくることで、色々な人が情報をシェアする文化をつくっていききたい • 科学や音楽、イノベーションなど実験できる、チャレンジできる場をつくり、面白い人たちが集まる街にしたい • 色々なジャンルを語り合えるような、皆が集まる場所をつくりたい • まちなかに出店したくなる場所を整備して、チャレンジできる環境を整えていけるとよい
海や港の活用	<ul style="list-style-type: none"> • 港での結婚式や船上での音楽イベントなど、今治の海の魅力を県外の人に気づいてもらえるように活性化したい • 若者が今治の船舶産業や重工業に興味を持ってもらうきっかけづくりをしたい • 飛行機や駅だけでなく、船で来る人を受け入れられる港にしたい • 海沿いが走って回れる場所になるとよい • 新鮮な魚を食べられるお店、仕事ができるスペースがあるとよい • 釣りやサーフィンなどのマリンスポーツを通じて、海で面白い体験をつくりたい • サーフィンのボートには今治の造船技術を活かすことができるのではないか • 鴨池海岸ではマリンスポーツが盛んなので、中心市街地とつながっていくと面白い
デート スポット	<ul style="list-style-type: none"> • デートスポットがない • 港は景色もいいし、人が集まる場所にできるのではないか • 昔は高校生も港にデートに来ていた • 大きいスクリーンでのナイトシアターなど、海辺は遊べる場所に変えていけるのではないか

■まちなかの活用に向けたアイデア（3）

項目	意見要旨
高校生が住み続けられる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> • 高校生が大学で外に出て行かざるを得ないのが勿体ないので、今治のまちなかに大学をつくりたい • 就職などで上京しても帰ってきたいと思えるまちにしたい • 3年では足りないので今治に残りたいと高校生から声が上がっている • 高校卒業後に地域おこし協力隊として商店街で企業の準備ができるなど、長く残ってもらう制度を整えたい • 高校生が4~5年かけてチャレンジできる環境をつくる • 自分の居場所や周りの人と交流できる場として、商店街に居場所があるとよい
まちの玄関口となる駅周辺の整備	<ul style="list-style-type: none"> • 駅の案内が少ないので、地元・観光客向けに充実させてほしい • 今治の玄関口である駅からは一ぱりーまで歩いて行ってもらえるようにしたい • 現状は駅とは一ぱりーの間の動線ができていないと感じる • 駐輪場が少ない • 駅周辺には塾が多いので、隙間時間を使って徒歩で店に寄れたり、遊べる・息抜きできる場所があるとよい
家以外の居場所	<ul style="list-style-type: none"> • まちなかが目的がなければ行かない場所になっているのが問題 • 買い物だけでなく、人に会いに来る、人と出会えるまちにしたい • 訪れた人たちがつながる場所をつくるためのハード・ソフトの仕組みを整えたい • 家以外の居場所としてまちがあると、ひとりあたりの持っている場所が増え、新たなつながりが生まれる

■まちなかの活用に向けたアイデア（４）

項目	意見要旨
夜間も明るいまち	<ul style="list-style-type: none"> • 夜を明るく、ライトアップや街灯を増やしてほしい • 海の近くで風を感じたり、街灯がキラキラと輝いていたり、魅力的な場所になるとよい
屋内の遊び場	<ul style="list-style-type: none"> • 屋内に遊べる場所があるとよい • 公園などの屋外で遊べる場所はあるが、今治には屋内で遊べる場所がない
商店街の活用	<ul style="list-style-type: none"> • 商店街は学生にとっても拠点になり得る場所 • アルバイトできる店、宿泊できるホテルや学生寮など、学生が生活できるようなまちづくりをしたい • 商店街の空き家もシャッターが閉まったままだと何も起きないので、シャッターを開けてもらったり、取っ払ってオープンにしたり動きが出てくるようにしたい
交通手段の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 中心市街地を訪れるための交通を充実させてほしい
まちなかの寺の活用	<ul style="list-style-type: none"> • まちなかに寺が沢山あるので、活用したい • 寺まで足を運んで紹介する「寺巡りツアー」などがあっても面白い

■WS・ディスカッションを通じた参加者の思い

項目	意見要旨
感想	<ul style="list-style-type: none">• 皆さんの熱い思いを聞いてすごく感動した• 大人として、一緒に協力できることがあればしていきたい• 高校生や学生とは普段触れ合うことがなかったが、パワーがものすごいと感じた。• まちづくりは簡単なことではないが、みんなで思いを持ってつくる分、きっとよい思い出につながっていく• 全体を通して頷ける意見が多く、これだけの人たちが中心市街地のことを考えてくれているのが嬉しい• この場に参加していない人たちにも、伝えていくことが大事• 大人だけでなく、波及力の高い高校生とも一緒に発信していきたい• 外から今治に来た立場としてみたときに、色々な人の温もりや優しさ、つながりが感じられる点が今治の好きなところなので、その魅力を活かした取組をしてみたい• 自分にできることはまだ少ないかもしれないが、まちの活性化につながる取組をしてみたい

6. 意見交換②

7. 今後のスケジュール

(参考)

第2回今治市都市再生協議会

日時： 2026年2月24日(火) 10:00~12:00予定

場所： 今治市役所 本館2階 庁議室

議題(案)：

- 第1~3回専門部会での議論の報告
- 都市再生整備計画(案)について
- 今後のスケジュール